

目標達成計画

作成日: 平成 22年 9月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		地域の行事に、なかなか参加出きないが、地域の方と交流を深めたい。	地域の方に積極的に挨拶や声かけなどを周辺の散歩中等行い、ホームの方の存在を知って頂き、関心を持って頂く。	ゴミ当番は進んで行い、地域住民と周辺の散歩等で出会う中で会話をし、箱田のホームの方を知って頂く。又運営推進会議では民生委員さんにも依頼して、ホームへ遊びに来て頂くよう話をした。今年の8月は子供神輿の行事をホーム駐車場で見学した。	6ヶ月
2		高齢の為か筋力の低下が見られ、立位・歩行が不安定で夜間等不穏状態もあり、不眠で転倒の危険がある。	転倒のリスクを防止する為昼間活動して頂き、夜間ゆっくり休んで頂く。(眠剤等の調節)筋力低下を維持する。	歩行器や車イスや手引き等でホール歩行を毎日職員の見守りの中で行う。又、ゆっくりしたりハビリ運動の音楽をかけ手足を動かし行っている。車椅子からイスやソファへの移乗、トイレでの移乗等の機会を多く取り入れている。夜間の眠剤など主治医や家族と相談しながら適量か副作用はないか見直ししながら服用するよう取り組んでいる。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。